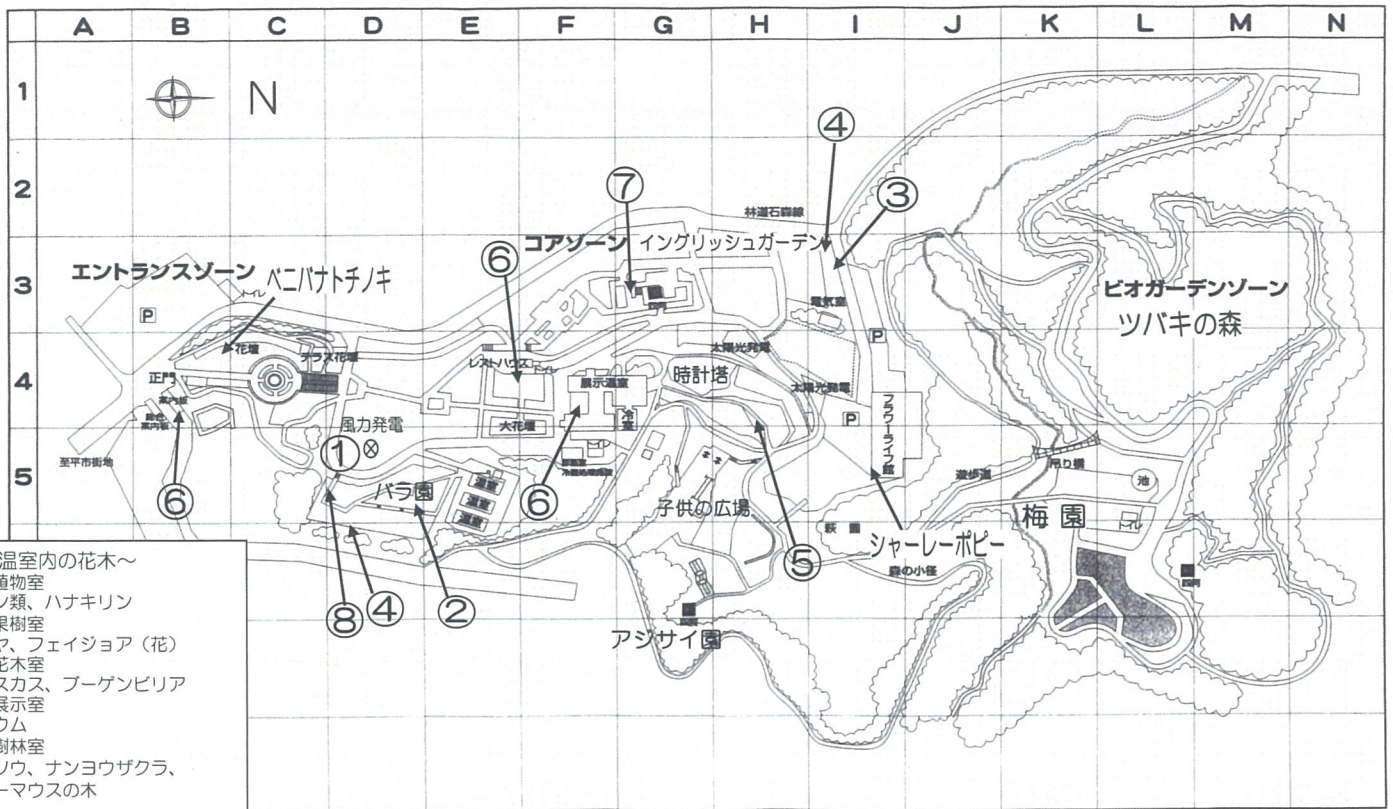


フラワーセンター【5月の花】

2022年度 5月23日更新

※園内の植物の盗難が相次いでいます。
園内の植物は絶対にとらないでください。



- ～展示温室内の花木～
- ・多肉植物室
 - サボテン類、ハナキリン
 - ・熱帯果樹室
 - パパイア、フェイジョア（花）
 - ・熱帯花木室
 - ハイビスカス、ブーゲンビリア
 - ・鉢物展示室
 - ゼラニウム
 - ・熱帯樹林室
 - コエビソウ、ナンヨウザクラ、
 - ミッキーマウスの木
 - ・冷室
 - メキシコマンネンソウ

①ネモフィラ (風力発電下)



ムラサキ科 一年草 原産：北アメリカ
ネモフィラは森の妖精のような、澄んだブルーの花が愛らしく、春の花壇やコンテナの寄せ植えなどに多く利用されています。細かく切れ込んだ葉が密に茂り、自然に分岐して咲きながら大きくこんもりと成長します。

②バラ (風力発電の東側バラ園)



バラ科 落葉低木 原産：北半球各地
“花の女王”として絶大な人気を誇るバラは、花の美しさ、香りの豊かさで、その名にふさわしい風格と気品があります。日本の自生種、イノバラやサンショウバラなどは、優秀な交配親として重要視されている種類です。

③シャクヤク (イングリッシュガーデン北側)



ボタン科 耐寒性多年草 原産：中国東部～朝鮮半島
平安時代に中国から薬用として渡来し、ボタンとならんで豪華な花の代表として親しまれています。江戸時代に数多くの園芸品種が誕生して以来、日本の庭園に欠かせない花となっています。

④ジャーマンアイリス (バラ園東側他)



アヤメ科 宿根草 原産：地中海
地中海沿岸原産のアイリスを元に改良が重ねられ、今日の姿ができあがりました。花に特有のひげがあることから「ひげアイリス」と呼ばれたり、その色数の多さから「レインボーリー」とも呼ばれることもあります。

⑤カルミア (展示温室とフラワーライフ館の間の通路)



ツツジ科 常緑低木 原産：北アメリカ東部
つぼみは金平糖のような、チョコレート菓子のアポロに似た形で花が開くと五角形の皿型になります。晩春につぼみが膨らみ開花期間は初夏から梅雨入りにかけて約1ヵ月ほどと長く、終わった花は散らずに茶色くなって残ります。

⑥オルレア グランディフローラ (正門花壇・展示温室南側花壇他)



セリ科 原産：ヨーロッパ
草丈は60cm前後で、花壇の中段あたりが好適。セリ科の植物らしい、ニンジンに似た繊細な切れ込みのある葉で、細い茎を立ち上げてレースのような白い花を咲かせます。わずかな風にも揺らぐ、楚々とした草姿でナチュラルな雰囲気を持っています。

⑦フレンチラベンダー (イングリッシュガーデン)



シソ科 原産：地中海沿岸
主な開花期は春～初夏で、花茎を伸ばしてその先端に小さな花を穂状にたくさん付けます。花壇に植えて花を楽しむほか、花や茎、葉などに芳香がありハーブとしても扱われます。

⑧ウケザキオオヤマレンゲ (バラ園南側)



モクレン科 小高木 原産：日本、朝鮮半島、中国
開花期は5月から6月。
奥山に自生するオオヤマレンゲとホオノキの交配種で、オオヤマレンゲの花が下向きに咲くのに対して、ホオノキと同様に上を向いて開きますが、花の大きさはホオよりもやや小ぶりです。